

令和2年度 魅力ある県立学校づくり大賞優秀賞受賞校の取り組み

# 県立東葛飾高等学校

<sup>とうかつ</sup><sup>とうかつ</sup>  
**東葛が東葛らしくあるために**

大正13年、旧制中学校としての開校から、今年度で97年目を迎えました。

普通科の高校でありながら、平成26年度には県内の医師不足の実態を踏まえた県下唯一の「医歯薬コース」が設置され、平成28年度には従来の「進学指導重点校」の意義を継承し、県内で2校目となる県立中学校が併設されました。校是である「自主自律」のもと、「学力」「人間力」「教養」を3つの柱として、グローバル社会のリーダーとして活躍できる人材の育成を目標に、主体的な学習者たる素地を涵養する教育活動を展開しています。

## ◆生徒の声で始まった「自由研究」

昭和45年に生徒の希望に応じて始まった「自由研究」は、総合的な学習（探究）を基盤として展開される、東葛伝統の「自学自習」の根幹とも言える時間です。すべての生徒が自主的に設定したテーマで、1年にわたる研究や実践を行います。JR我孫子駅の発車メロディーに地元ゆかりの曲を提案した実践や、日本学生科学賞の科学技術政策担当大臣賞を受賞した黄色ゴム状硫黄の研究などは、新聞にも取り上げられています。



## ◆県内唯一の医療コース

提携している柏市医師会の指導のもと、地域の病院、大学などから招聘した現職の医師や薬剤師による講義など、専門的な学習を行っています。

また、国立がん研究センター東病院をはじめとする地域の各病院、千葉大学、国際医療福祉大学、東京理科大学、東邦大学に、見学や実習などへの協力をいただいています。



## ◆本校を象徴する学び「リベラルアーツ講座」

グローバル社会に対応できる幅広い教養の定着を目指して、土・日曜日や長期休業中などに開催している「リベラルアーツ講座」は、本校の学びを体現するものです。大学の研究者や本校教員による専門的な講座を例年50程度開講しています。参加は自由で、保護者が講師を務めることもあれば、中学生や保護者が一緒に参加できる講座もあります。



また、東葛三大祭と呼ばれる「スポーツ祭」「合唱祭」「文化祭」は、生徒の自主的な創造と管理のもとに営まれ、切磋琢磨の中で人間力の伸長が図られています。

本県の教育の振興に関する大綱に謳われている「自らを積極的に役立て生かしていこうとする態度や能力」の育成こそが、東葛の学びの神髄です。これからも高度で主体的な学習活動を継続的に模索する中で、「東葛が東葛らしくある」ことへのプライドを、次代のリーダーを育てることにつなげるべく取り組んでまいります。